

[公財]いわて産業振興センター広報誌

特集／キラリ輝く★いわての企業

## 株式会社川喜

川喜のおいしい麺を

日本の「しあわせな一食」に

センターのプロフェッショナル紹介／6

岩手のチャレンジャーたち／6

4道県合同商談会開催／7

医療機器総会を開催／7

半導体人材育成に向けた取組／7

いわて企業マネージャー養成講座開講／7



うどんや中華麺など、原料の調合から製麺まで行っている



茹で上げた麺が1食分ずつ、小分けにされていく

# 川喜のおいしい麺を 日本の「しあわせな一食」に

釜石市／株式会社川喜

## 主力製品はうどんとそば

ラーメンのイメージが強い川喜だが、現在、主力商品は茹でうどんと茹でそばだ。国産粉を使い、添加物無しの、安心・安全にこだわるため、売場ではやや高い商品となっている。「置いてくださっているお店には、とても良質なお客さまがいらっしゃるんです」と川端力社長は語る。実は同社の市場はもっぱら首都圏の高級スーパー。価格ではなく価値で判断してくれるのだ。東京へ進出したころに、川端社長は東京の催事の助っ人手伝

いに呼ばれた。そこで先代社長が現地で手打ちする麺が、どんどん売れるのを目の当たりにした。店の閉店まで、お客様が麺を求めて並んでいる光景がいまも目に浮かぶ。「川喜の麺は日本一おいしいって、ずっと思っていたんです」と川端社長。それが確信となり、社長は、もっとおいしい麺を作りたいと思い入社。その情熱がいまも原動力になっている。

## お客さまがお客さまを呼ぶ

平成12年ころ、伊勢丹新宿本店の催事に2回ほど参加し、2年後には系

列店のクイーンズ伊勢丹などに展開することになった。同店は、東京を中心として展開する高品質な商品にこだわるスーパーだ。それから別の店からも扱いたいと声がかかった。その後、自らセールスにも動き販路を広



人気商品は、北海道産の小麦と塩だけでつくる茹でうどんシリーズと、石臼挽きの国産そば粉の田舎そば

げていった。8年前の震災のときには応援の声ももらった。だからこそ会社を続けなければと思いがんばってきたという。

## 新商品、新事業、川喜の挑戦

「いわて産業振興センターのいわて希望ファンド助成に採択されたおかげで、やりたかったことがやれるようになった」と川端社長。試食販売などにも自ら立つという社長は、売場でお客さまの生の声を聞きニーズをとらえている。さらにパッケージを刷新したいなど、様々な思いをひも解きながら販路拡大のためのツールや商品開発をコンサルなどと一緒に進めている。キャッチコピーの「なにげない一食をしあわせな一食に」もそこがきっかけだった。現在商品は30種類にのぼり、企業のPB商品も扱っている。

国産原料にこだわるが、国産の仕入価格は高い。特にそばは、生産量も限られるため高く手が出せない年

があり、安定供給を目指し自社農園を始めたという。別会社だが実兄が担当しそばの店も開いていて、サラリーマンに人気になっている。そして今年、自社でも飲食店を開店した。三陸鉄道鶴住居駅前の「鶴の郷交流館」内にある「つるり」という店だ。「東京に行くとき信州や山形のそばはあるのに、岩手はない。南部そばをいつか世に出したいんですよ」と飲食店進出の理由を語った。

## 岩手を食のパラダイスに

いま事業展開で新たな夢がある。それは岩手県のおいしい食を都心部で広めることだ。「岩手の食ってすごいと思うんです。〈岩手は食のパラダイス〉というイメージをつくっていき」と社長は語る。自分たちが持つ首都圏の販路に、岩手のいい商品と一緒に持って行く作戦だ。既にプロジェクトも始まっている。取引先に声をかけると「川喜さんがいうなら」と

前向きに検討してくれるという。「正直びっくりしました」と川端社長は振り返る。こだわりの姿勢を貫いてきた。そのこだわりが20年来の信頼となり、紹介の話にもすんなりと耳を貸してもらえる。信頼を武器に、川喜の快進撃は続く。

## ✓ 社長メッセージ

お客さまに喜ばれる事が好きなんです。だからおいしい、いい商品を作りたいと、手間ひまをかけて、誰でもできることを誰もができないくらい徹底してやっています。麺文化を支える企業としてのポリシーです。企業ブランディングにも力を入れ、「岩手発、日本の川喜」といわれるよう成長していきたいです。



動画でキラリ  
会社訪問



代表取締役社長 川端力

## >社長メモ

釜石市出身。休日は子供のサッカー中心。体を動かすことが大好き。闘争心を燃やし悩みが消えるボクシングを楽しみ、週2、30キロ走っている。来年は釜石トリアスロン挑戦!

(株)川喜様の場合 >>

# 安全安心の商品を届ける

**目標設定** 本物追求の川喜を目指す

**品質確保**

- 最高の材料×最高の仕込水×最小限の添加物×手間を惜しまぬ製法
- そばの栽培・良質な水を求め工場を移転
- 職人が気温・湿度・生地に気を配り美味しい麺を追求

**販路展開**

- ★ 売り場づくり・売れるPOP・試食販売・クレーム即対応
- ★ 他社より高い価格帯で首都圏取引先172店舗で売り場展開(平成30年現在)



関東中心にマーケットを展開するクイーンズ伊勢丹

取引先 (株)エムアイフーズスタイル  
営業統括本部 商品部 薄井 蓉子様

(株)川喜様の麺はお客様から大変御好評で、当社のお薦め商品の一つになっています。これもとことん品質にこだわる真面目な岩手らしい(株)川喜様の毎日の取り組みがあつてのことと思います。



国産の素材にこだわり添加物に頼らない中華麺、うどん、そば、ひつまみなどを製造している。



生地を90分しっかり寝かせる、蒸気殺菌するなど、手間を惜しまずおいしい麺をつくる。



商品開発のほか、昭和46年に開発したままの醤油ラーメンなど定番のパッケージをリニューアルし多彩な商品展開を行っている。



自社の思いを掲げたポップやパネルで工夫し、試食販売を実施し、ファンの心をつかんでいる。

## 企業DATA

会社名	株式会社川喜	沿革	昭和24年/釜石市浜町で創業	従業員	28名
代表者	川端 力		昭和52年/いい水質を求めて工場を定内町へ移転	資本金	4700万円
業種	製麺業		平成21年/新事業・そば栽培11ha(直営農業)本格的に開始	URL	http://kawakinomen.com/
工場	釜石市定内町3-12-18		平成27年/ふるさと食品中央コンクール「農林水産大臣賞」受賞		
電話	0193-23-7485		平成29年/東京営業所開設		
			令和元年/飲食店「つるり」開店		



## 「沿岸企業の期待の星」になれ!

昨年度、三陸地域産業活性化支援事業「協創の場」において、(株)川喜様をご支援させていただきました。具体的には、沿岸地域のリーダー企業育成を目標に、その会社が現在抱える課題を明確にしながら、大手企業の皆様のご協力をいただき、目標達成に向けて課題を解決していく取組です。(株)川喜様の場合、受注型生産で翌日配送のため、毎日の生産量にばらつきが多く、生産現場の負荷が大きいことが課題でした。このため、デンソー(株)の関係者から生産の平準化や物流改善の方法などアドバイスいただいたところ。また、(株)川喜様の川端社長と練り上げた事業構想では、これまで培ってきた首都圏の販路を生かして、沿岸地域の食材を首都圏で展開できるプロデュース企業になっていく目標を掲げたところ。ぜひ、岩手の沿岸地域をけん引できる期待の星となっていただきたいと思っています。



「協創の場」でプレゼンする川端社長



有限責任監査法人トーマツ  
もりかわ まさみち  
パートナー 森川 祐亨

さんりく未来創造塾などの事業コーディネーターとして企業育成を推進している。

## いわて産業振興センターは、企業の発展に向け、総合的に支援してまいります。

### いわて特産品コンクール

岩手の資源を活かして開発した食品や工芸品を専門家が審査・表彰するコンクールを毎年開催しています。平成26年度は、(株)川喜の「いわて南部地粉そば」が岩手県知事賞を受賞し、商品展開のきっかけとなりました。



### いわて希望応援ファンド

中小機構・県・金融機関の出資ファンドにより、新規創業や新事業展開等を支援するため、事業費の1/2~3/4を助成する事業です。

(株)川喜は、それまでバラバラだった商品パッケージの統一や取引店舗での試食販売コーナーの装飾経費等にファンドを活用いただきました。丁寧な営業販売活動も功を奏し、多数の首都圏高級スーパー店舗での販売実績が年々拡大し、消費者からも(株)川喜の商品が認知されるようになってきました。



(株)川喜の店舗棚

### さんりく未来創造塾・協創の場

震災で大きな被害を受けた三陸地域の復興をリードしていく企業を育成支援するため、監査法人トーマツと全国の大手企業で構成するオリンピック・パラリンピック等経済協議会メンバー企業との関係者を講師とする「さんりく未来創造塾」とそのフォロー事業である「協創の場」を実施しています。

昨年度は(株)川喜が「協創の場」の対象企業として、同社の事業構想を首都圏企業にプレゼンする機会などを設けました。



さんりく未来創造塾

## 》センターのプロフェッショナル紹介

専門知識を活かし活動していただいている当センターのアドバイザー、コーディネーターをシリーズでご紹介します。

### 生産技術マネージャー 藤澤 久一

アルプス電気(株)岩手工場で長年、開発設計業務に従事。その後、JSTイノベーションサテライト岩手等を経て、平成28年から現職。盛岡市在住。



#### ▶どのような支援を行っているのですか？

県内に生産拠点を持つ大手メーカーと中小企業とのマッチングにより、地元での部品調達を促進するほか、ものづくり企業の製品開発にソフトウェア企業のノウハウを生かすなど、県内企業の連携を支援しています。

#### ▶どのような成果につながっていますか？

県内に生産拠点を置く大手メーカーは、県外企業からの部品調達が多く、地元企業との接点は思いのほか少ない。品質の高い部品を地元の企業から調達できれば、お互いの企業にとって大きなメリットとなります。また、ものづくり企業がIoTを推進する場合、ITノウハウを有するソフトウェア企業との連携は大きな力となります。そうした仲人役を務めています。

#### ▶最近の県内企業の印象はいかがですか？

社内の生産技術の向上に積極的な企業が増えています。社内の小集団活動を通じた若い社員の育成にも前向きです。社員の自発的なアイデアを活用することは、会社を発展させる原動力になります。

#### ▶岩手の企業に期待することは何ですか？

自社だけでなく地域の課題にも目を向けてほしい。地域に根差したものづくりが大きなビジネスチャンスにつながることもあります。そうしたマーケティングセンスをぜひ伸ばしてほしいと思います。

## 》岩手のチャレンジャーたち

新たな事業に取り組む企業関係者をシリーズでご紹介します。

### 株式会社 京屋染物店(一関市)

社名は創業者が京都で修業したことに由来しており、創業大正7年から続く一関市の老舗です。主に半纏や法被、浴衣、手拭いなど、お祭り用の用品を製作・販売していましたが、伝統の染色技法を活かし、海外でも受け入れられる「和」を基調としたジャケットや小物を製作しました。昨年はフランスで開催された「ジャポニズム2018」にも出展し、大きな反響を呼びました。現在、海外エージェントと組んで、さらなる海外展開を目指しています。



伝統の染色技術を活かした商品

#### 株式会社京屋染物店

岩手県一関市大手町7-28 平成30年度よりファンド事業をご活用。

●いわて希望応援ファンドに関するお問い合わせ 物産振興担当 TEL: 019-631-3823

## 》ニューズピックス

センターに関連する取り組みやイベント、報告などの最新のニュースをお知らせいたします。

### 4道県合同商談会開催



青森・秋田・岩手・北海道合同商談会が7月4日に東京で開催されました。県内からは60社の受注企業が、関東エリアからは発注企業109社が参加しました。この商談会により、北海道・北東北の地場企業の実りある取引拡大が期待されます。

●お問い合わせ 取引支援・産業集積担当  
TEL: 019-631-3822

### 医療機器総会を開催



いわて医療機器事業化研究会総会及び第1回研究会が7月12日に盛岡で行われました。地域企業の医療機器関連産業への新規参入・取引拡大の促進のための情報発信や製品開発等の支援を引き続き行ってまいります。

●お問い合わせ 取引支援・産業集積担当  
TEL: 019-631-3822

### 半導体人材育成に向けた取組



7月8日から18日までの8日間、半導体人材育成セミナーを開催し、求職者4名、県内半導体関連企業から31名が参加しました。セミナーでは、講義のみならず実技を加えた実践的なカリキュラムを組み、半導体プロセスや製造装置への理解を深めました。

●お問い合わせ 取引支援・産業集積担当  
TEL: 019-631-3822

### いわて企業マネージャー養成講座開講



当センターが主催するいわて企業マネージャー養成プログラムの第1講目が7月23日から2日間にわたり開講されました。この講座は企業の後継者育成を目的とし、今年度は実習と体験学習を中心に3講に分けて開催されます。

●お問い合わせ 経営支援・産業人材担当  
TEL: 019-631-3824

## 設備導入を支援します

長期	3年～10年
低利	年1.3%～1.7%
無担保	金融機関融資と別枠
貸付 限度額	100万円～1億円(消費税込)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)
連帯 保証人	法人の場合：代表者1名 個人の場合：不要

県内中小企業が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的な制度です。

生産性向上等を目的とする設備の導入を支援いたします。

● お問い合わせ 設備貸与担当  
TEL：019-631-3821

## 受発注取引をマッチング支援します

### 支援対象企業

自動車・半導体・医療機器・IT・アパレル関連企業  
(※受注は県内企業に限ります。)

### マッチング支援内容

- ① 受発注の可能性のある企業へ、電話・メール・FAX等でご提案します。
- ② 受発注企業訪問に当センター職員が同行可能です。
- ③ 首都圏ものづくり発注企業等との受発注取引商談会を開催します。(年2回)

各種取引支援メニューがございますので、お気軽にご相談ください。

● お問い合わせ 取引支援担当  
TEL：019-631-3822

## 賛助会員募集中です

年会費	一口20,000円
会員特典	<ol style="list-style-type: none"><li>① 広報誌「産業情報いわて」の定期送付</li><li>② 取引商談会の参加料割引</li><li>③ 経営管理者向け研修会の参加料割引</li><li>④ 社内研修用のDVD貸出送料無料</li></ol>

センターの事業は、国や県からの補助・委託事業によって運営されていますが、用途が限定されるため、県内企業の皆様の賛助会費によって、事業費を補っていただいております。

県内企業の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

● お問い合わせ 総務企画担当  
TEL：019-631-3820

## 岩手県工業技術センター 利用施設紹介コーナー

施設名	デザイン支援拠点 IIRI DESIGN LAB(デザインラボ)
相談対応	デザイン担当の研究員がご相談にお応えします。
利用 スペース	<ol style="list-style-type: none"><li>① 撮影スタジオ 照明設備があり、商品等の撮影ができます。</li><li>② デザイン工房 試作品等の製作ができる多目的スペースです。</li></ol>
利用機器	<ol style="list-style-type: none"><li>① レーザー彫刻機</li><li>② 光造形装置</li><li>③ 大判プリンター</li></ol> などがあります。

(地独)岩手県工業技術センターでは、市場において競争力のある魅力的な商品の開発を支援するため、2019年4月からIIRI DESIGN LAB(デザインラボ)を設置しています。

▶ 最新の情報は、QRコードからHPをご覧ください。



● お問い合わせ (地独)岩手県工業技術センター  
TEL：019-635-1115